

電子調達システム操作マニュアル

1 利用者環境準備編

平成 28 年 4 月

● 目次

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| 1. | 利用者環境準備 | 1 |
| 1.1 | はじめに..... | 1 |
| 1.2 | Internet Explorer の設定..... | 2 |
| 2. | ファイルタイプ証明書利用者向け環境準備 | 9 |
| 2.1 | はじめに..... | 9 |
| 2.2 | 動作環境..... | 10 |
| 2.3 | 利用者環境準備手順..... | 10 |
| 2.4 | 電子調達システム用プログラムのインストール手順..... | 11 |
| 2.5 | 電子調達システム用プログラムのアンインストール手順 | 16 |
| 2.6 | 付録 | 18 |
| 3. | 入札結果確認向け環境準備 | 36 |
| 3.1 | はじめに..... | 36 |
| 3.2 | 動作環境..... | 36 |
| 3.3 | 利用者環境準備手順..... | 36 |
| 4. | 改訂履歴 | 37 |

- 本書の目的

本マニュアルは、電子調達システムを利用するため必要なソフトウェア・機器等の設定方法を説明したものです。

- 本書の用語集

本マニュアルにおいて、以下の名称を用いて説明します。

| 名称 | 説明 |
|-------|--------------------------------------|
| 本システム | 電子調達システム |
| 民間認証局 | 民間事業者が利用する電子証明書の発行と発行した電子証明書の認証業務を実施 |

| 名称 | 説明 |
|-------|----------------|
| 契約担当者 | 契約業務全般の官側担当者 |
| 事業者 | 民間利用者 |
| 代表者 | 事業者の代表権を持つ者 |
| 代理人 | 代表者から業務を委任された者 |
| 復代理人 | 代理人から業務を委任された者 |

- 本書の利用対象者

電子調達システムを利用する事業者を対象とします。

1. 利用者環境準備

1.1 はじめに

ここでは、電子調達システムを利用するために、全てのご利用者様に実施していただく必要のある環境準備作業について説明します。

注意：本システムを利用するにあたり、ファイルタイプ証明書を利用する場合は、「[2 ファイルタイプ証明書利用者向け環境準備](#)」も合わせて参照し、利用者環境準備を行ってください。

また、ICカードを利用する場合は、ご利用の民間認証局が提供するマニュアル等も合わせて参照し、利用者環境準備を行ってください。

注意：利用者申請で登録した電子証明書の更新には、以下の制約があります。

利用者申請において本システムに登録した電子証明書がファイル形式の場合、別の認証局発行のファイル形式へは更新が可能です。ICカード形式への更新はできません。

また、電子証明書がICカード形式の場合、他の認証局の電子証明書への更新はできません。

ポイント：電子証明書の取得までにかかる時間については、発行元各民間認証局に確認してください。

ポイント：入札結果確認のみを利用する場合は、「[3 入札結果確認向け環境準備](#)」を参照し、利用者環境準備を行ってください。

1.2 Internet Explorer の設定

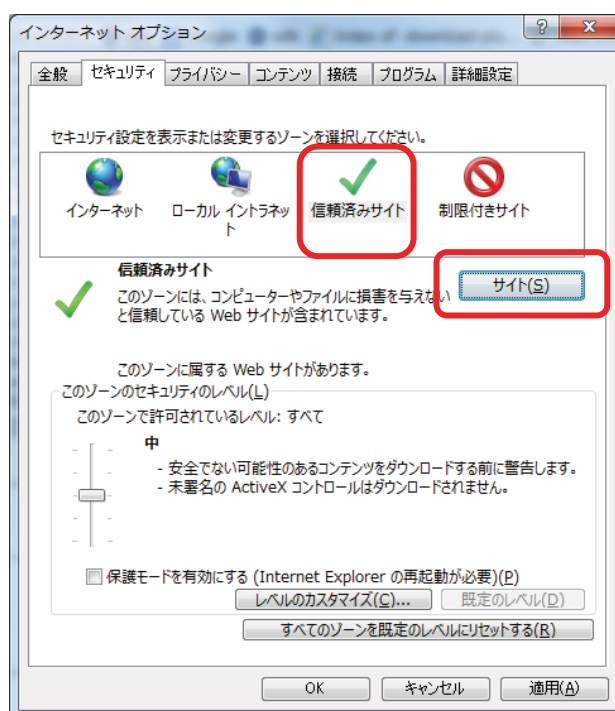
本システムを利用するための Internet Explorer の設定について説明します。

(1) 信頼済みサイトの設定

「信頼済みサイト」に以下の URL を登録します。

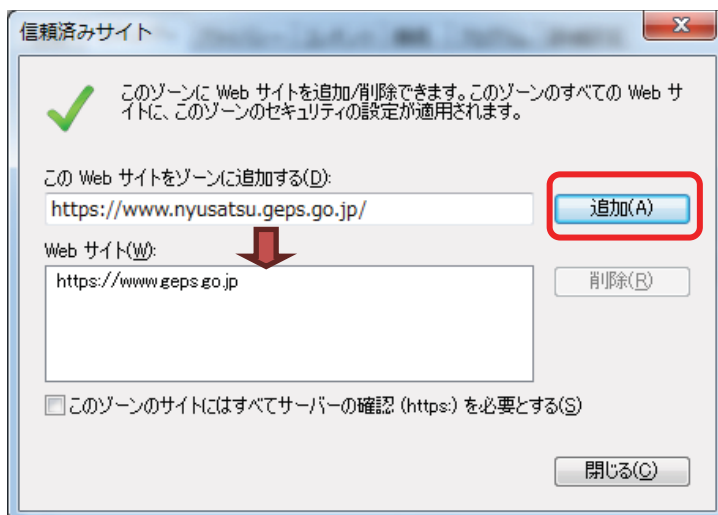
| No | URL |
|----|----------------------------------|
| 1 | https://www.geps.go.jp/ |
| 2 | https://www.nyusatsu.geps.go.jp/ |

- Internet Explorer を開き、[ツール] → [インターネットオプション]を選択します。
「インターネットオプション」にて[セキュリティ]タブを選択します。
- [信頼済みサイト]を選択後、**サイト(S)**をクリックします。

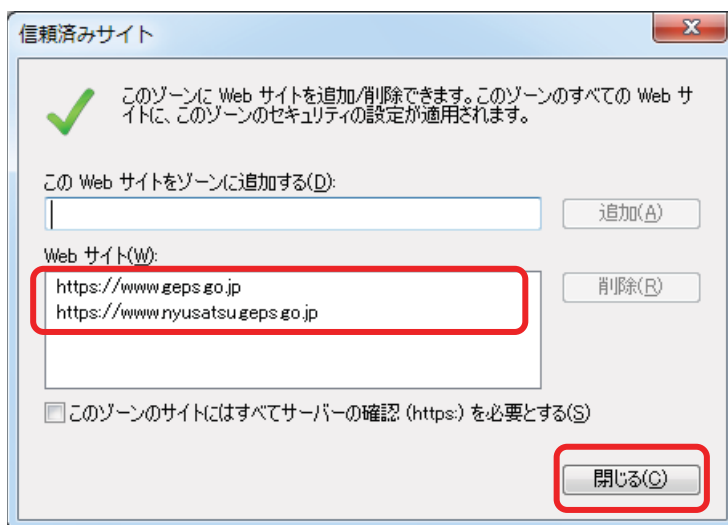


注意 : 「信頼済みサイト」のセキュリティレベルは既定のレベルで動作確認しています。

- ③ 「信頼済みサイト」にて、「この Web サイトをゾーンに追加する」に、「https://www.geps.go.jp/」及び「https://www.nyusatsu.geps.go.jp/」を入力して追加(A)をクリックします。

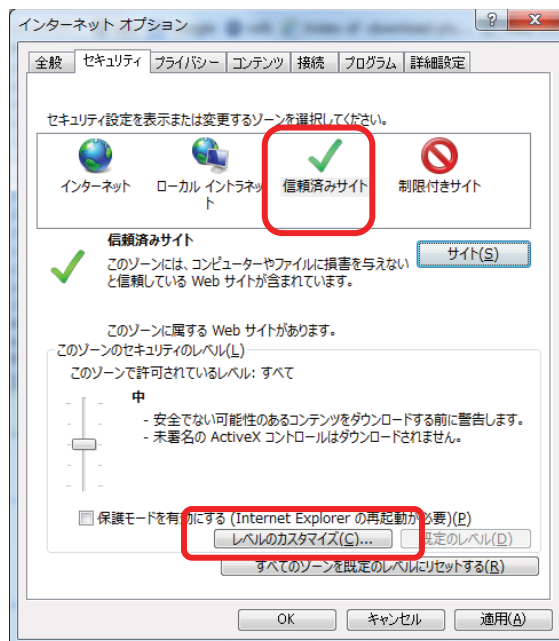


- ④ 「Web サイト」に「https://www.geps.go.jp」及び「https://www.nyusatsu.geps.go.jp」が追加されたことを確認した後に、閉じる(C)をクリックします。

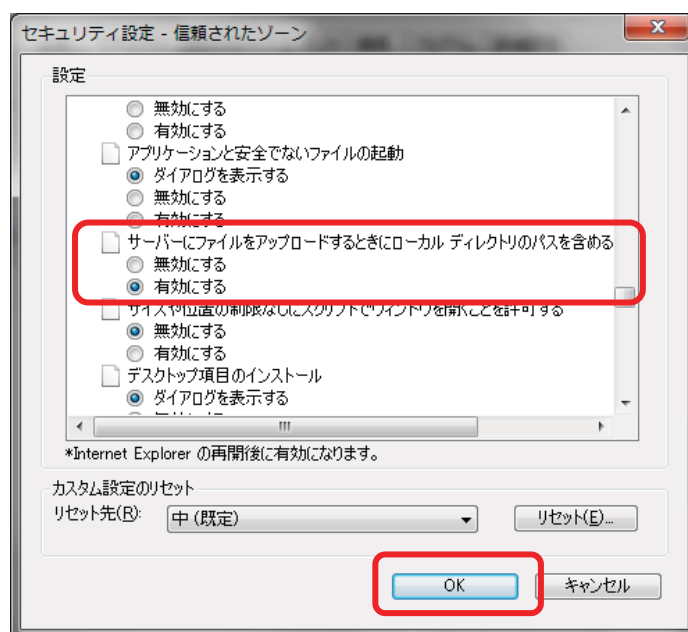


(2) 信頼済みサイトのセキュリティレベルによるオプション変更する

- ① Internet Explorer を開き、[ツール] → [インターネットオプション]を選択します。
「インターネットオプション」にて[セキュリティ]タブを選択します。
- ② [信頼済みサイト]を選択後、**レベルのカスタマイズ (C) ...**をクリックします。



- ③ [サーバにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める]の設定を [有効にする] を選択して、**OK** をクリックします。

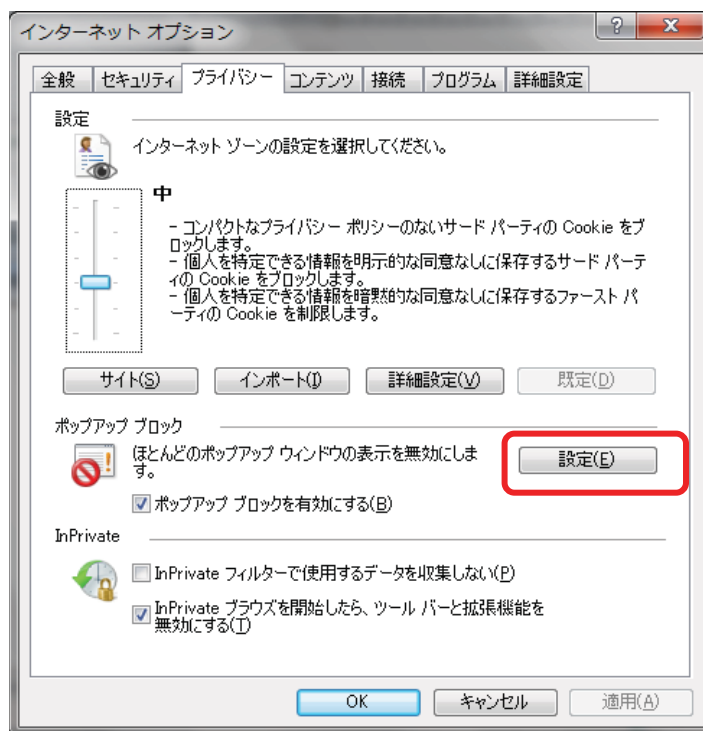


(3) ポップアップを許可するサイトへ登録する

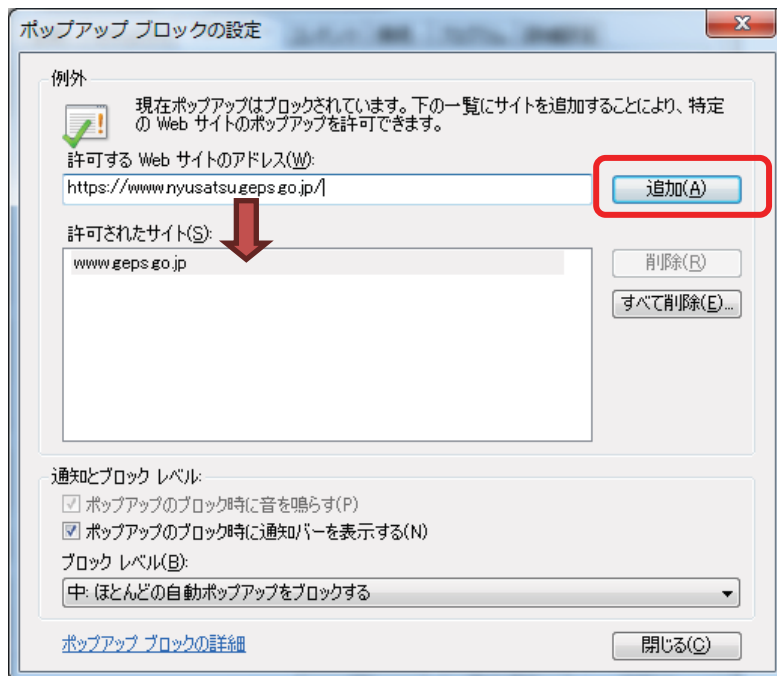
以下の URL を「ポップアップを許可するサイト」に登録します。

| No | URL |
|----|----------------------------------|
| 1 | https://www.geps.go.jp/ |
| 2 | https://www.nyusatsu.geps.go.jp/ |

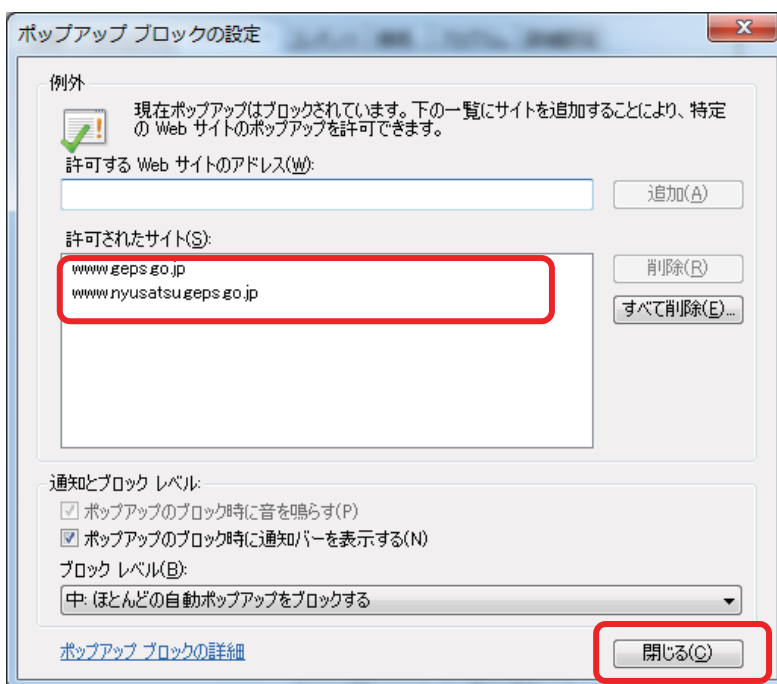
- ① Internet Explorer を開き、[ツール] → [インターネットオプション]を選択します。
「インターネットオプション」にて[プライバシー]タブを選択します。
- ② **設定**をクリックします。



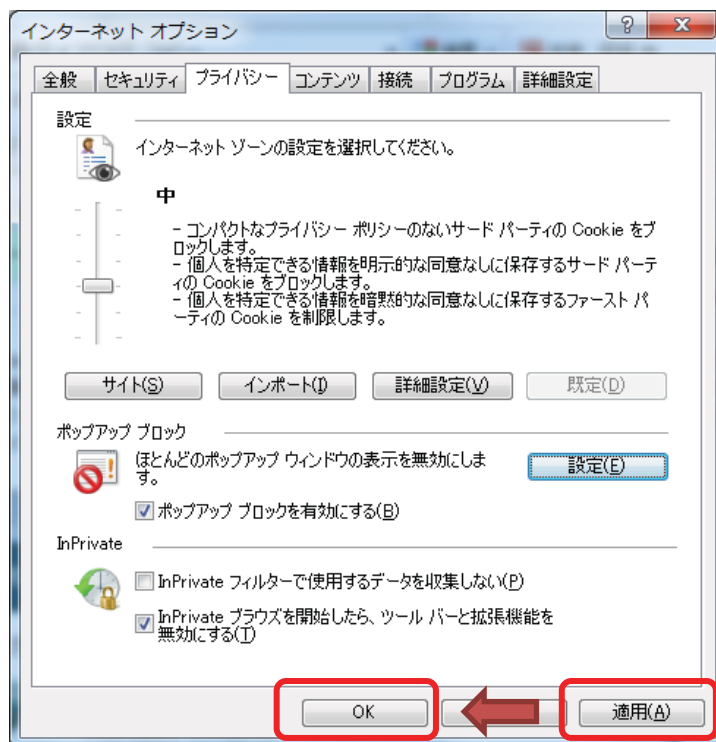
- ③ 「許可する Web サイトのアドレス」に「https://www.geps.go.jp/」及び「https://www.nyusatsu.geps.go.jp/」を入力して追加(A)をクリックします。



- ④ 「許可されたサイト」に「www.geps.go.jp」及び「www.nyusatsu.geps.go.jp」が追加されたことを確認した後に、閉じる(C)をクリックします。



- ⑤ **適用(A)**をクリックした後、**OK**をクリックし、Internet Explorer を念のため再起動してください。

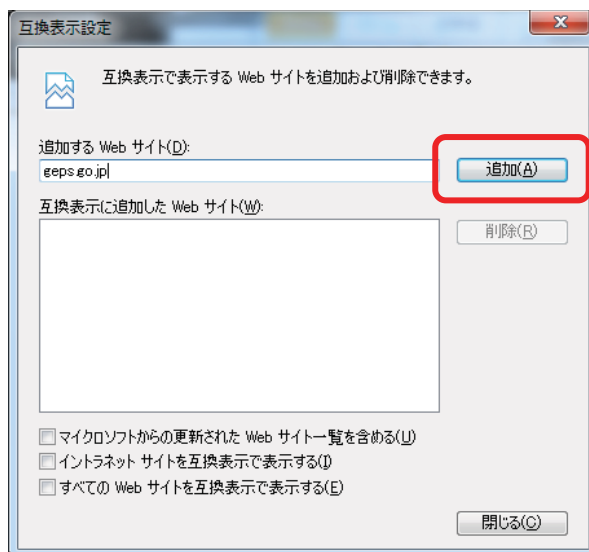


(4) 互換表示設定を変更する

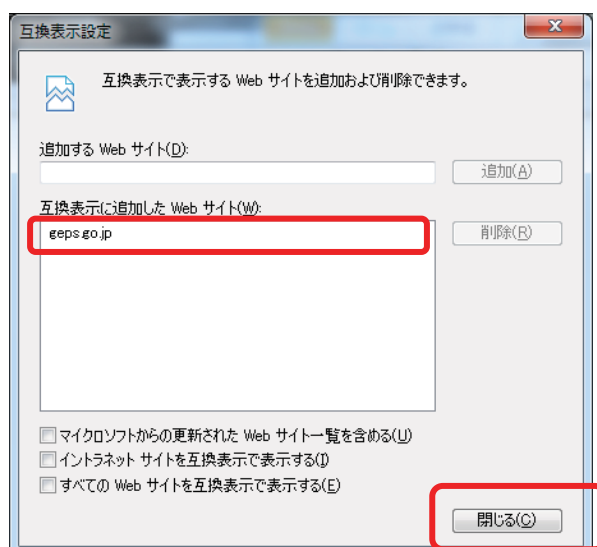
以下の URL を「互換表示で表示する Web サイト」に登録します。

| No | URL |
|----|--------------|
| 1 | geps. go. jp |

- ① Internet Explorer を開き、[ツール] → [互換表示設定]を選択します。
「追加する Web サイト」に「geps. go. jp」を入力して**追加(A)**をクリックします。



- ② 「互換表示に追加した Web サイト」に追加されたことを確認した後に、**閉じる(C)**をクリックします。



2. ファイルタイプ証明書利用者向け環境準備

2.1 はじめに

注意：以下のファイルタイプ証明書を利用する場合の環境準備作業について説明します。ICカードを利用する場合には、ご利用の民間認証局が提供するマニュアル等をご参照し、利用者環境準備を行ってください。

本システムで利用可能なファイルタイプ証明書を以下の表に示します。

| No | 認証局 | サービス名 | 参考 URL |
|----|-----------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 法務省 電子認証登記所 | 商業登記に基づく電子認証制度 | http://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION/index.html |
| 2 | セコムトラストシステムズ(株) | セコムパスポート for G-ID | http://www.secomtrust.net/service/ninsyo/forgid.html |

※ファイルタイプ証明書を利用するための電子調達システム用プログラムは、本システムのポータルサイト (<https://www.geps.go.jp/>) 「電子調達システムの利用開始方法」のページからダウンロードします。

本システムで利用可能なICカードを発行する民間認証局を以下の表に示します。

ICカードを利用するにあたって必要な環境及び準備方法は各民間認証局にご確認ください。

| No | 認証局 | サービス名 | 参考 URL |
|----|-----------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 株式会社NTTネオメイト | e-ProbatioPS2 | http://www.e-probatio.com/ |
| 2 | ジャパンネット株式会社 | 電子入札コアシステム用電子認証サービス | http://www.japannet.jp/ |
| 3 | ジャパンネット株式会社 | DIACERT-PLUS サービス | http://www.diacert.jp/plus/ |
| 4 | 株式会社帝国データバンク | TDB電子認証サービスTypeA | http://www.tdb.co.jp/typeA/ |
| 5 | 東北インフォメーション・システムズ株式会社 | TOiNX 電子入札対応認証サービス | https://www.toinx.net/ebs/info.html |
| 6 | 日本電子認証株式会社 | AOSign サービス | http://www.ninsho.co.jp/aosign/ |
| 7 | 電子認証登記所 | 法人認証カードサービス | http://www.ninsho.co.jp/hojin/ (日本電子認証株式会社 法人認証カードサービス) http://www.legal.co.jp/hojin/ (株式会社リーガル) |

| | | | |
|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 法人認証カードサービス http://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION / (法務省 商業登記に基づく電子認証制度HP) |
|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------|

2.2 動作環境

電子調達システム用プログラムの動作環境については、本システムのポータルサイト (<https://www.geps.go.jp/>) 「電子調達システムの利用開始方法」のページをご確認ください。

2.3 利用者環境準備手順

利用者環境準備手順は以下のとおりです。(既存電子入札システム用のクライアントソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は「[\(2\)JRE \(Java Runtime Environment\) のインストール](#)」から始めてください。)

注意：以後の説明は、ファイルタイプの証明書の方のみ実施してください。

(1) 既存電子入札システム用クライアントソフトウェアをアンインストールする。

既存電子入札システム用のクライアントソフトウェアがパソコンにインストールされていて、電子調達システム用プログラムをインストールする場合、既存電子入札システム用クライアントソフトウェアをアンインストールします。

アンインストール手順については、既存電子入札システムの設定手順書等を参照してください。

注意：電子調達システムクライアントソフトは Java 実行環境に暗号モジュールをインストールするため、同一端末で既存電子入札システムを併用した利用は動作保証対象外となります。そのような場合、既存電子入札システム用クライアントソフトウェアをアンインストールし、電子調達システムのクライアントソフトをインストールし、ご利用することを推奨します。

再度既存電子入札システムを利用する場合は電子調達システム用プログラムをアンインストールした後、既存電子入札システム用クライアントソフトウェアをインストールしてください。

(2) JRE(Java Runtime Environment)のインストール

電子調達システムが動作を確認している JRE をインストールします。JRE のダウンロード方法およびインストール方法については、Oracle 社のホームページ等を参照してください (JRE のインストーラに従い、必要に応じて再起動してください)。

注意：ご利用する民間認証局でサポートしているバージョンのみご利用可能です。現在ご使用中の JRE のバージョンが異なる場合は、JRE をアンインストールしてから、改めてサポートしているバージョンをインストールしてください。

(現在、ご使用中の JRE のバージョンの確認手順については、「[2.6.3 JRE のバージョン確認手順](#)」を、JRE のアンインストールの手順については、「[2.6.5 JRE のアンインストール手順](#)」を参照してください。)

(3) JRE の自動アップデート解除

電子調達システム用プログラムは Java 実行環境に各種モジュールをインストールするため、Java 実行環境の自動アップデート機能を無効にします。手順については「[2.6.2 JRE の自動アップデート解除手順](#)」を参照してください。

注意：Java 実行環境をアップデートした場合、電子調達システム用プログラムをアンインストール後に再インストールしてください。

(4) 電子調達システム用プログラムのインストール

電子調達システム用プログラムをインストールします。インストール手順については、「[2.4 電子調達システム用プログラムのインストール手順](#)」を参照してください。

(5) JRE8 に関する設定

「JRE8」を使用する場合は、電子調達システム用プログラムをインストール後、「JRE8」に関する設定を行います。詳細については、「[2.6.1 JRE8 に関する設定手順](#)」を参照してください。

2.4 電子調達システム用プログラムのインストール手順

電子調達システム用プログラムのインストール手順を説明します。

※以後の説明は、ファイルタイプの証明書の方のみ実施してください。

電子調達システム用プログラムを Windows7 (Professional) にインストールする例を示します。

インストールは必ず Administrators (システム管理者権限) グループのユーザで行ってください。

- ① Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。

- ② 本システムのポータルサイト (https://www.geps.go.jp/) 「電子調達システムの利用開始方法」のページより電子調達システム用プログラムをダウンロードします。



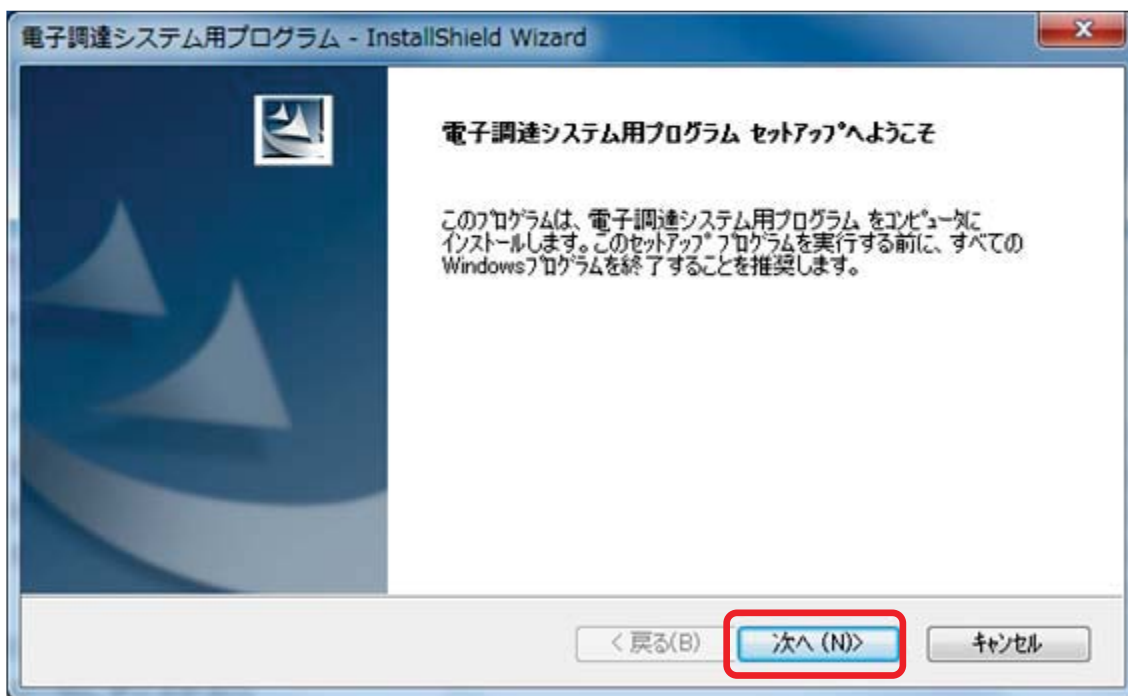
- ③ エクスプローラ等を利用し、ダウンロードした電子調達システム用プログラムのインストーラーを起動してください。



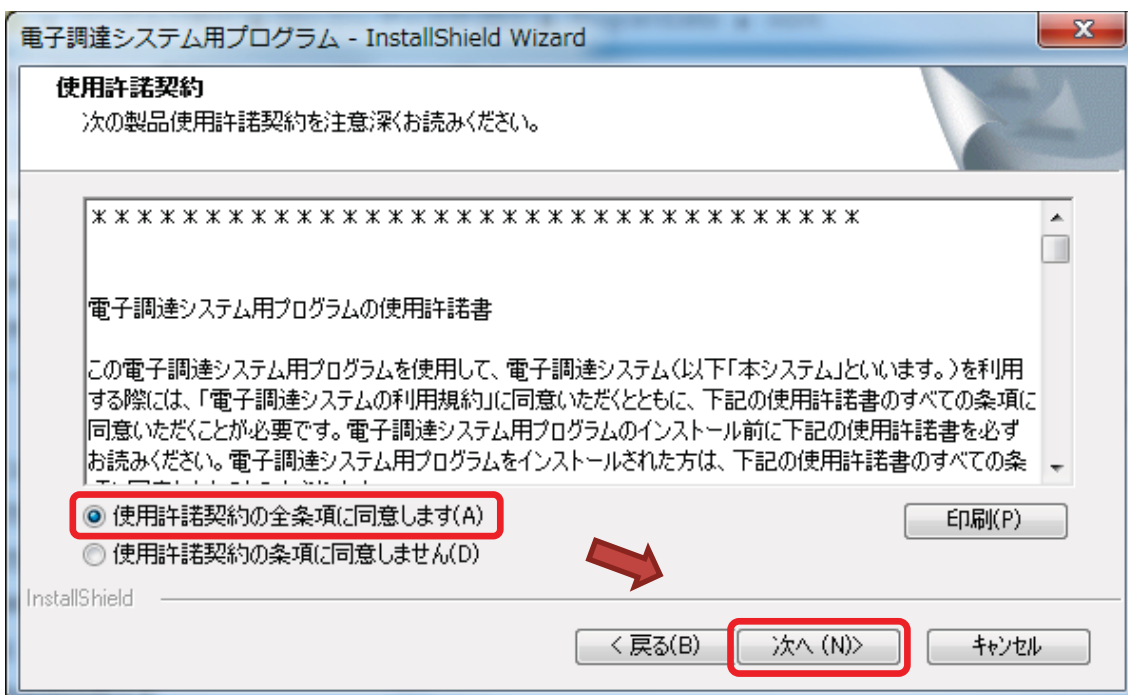
注意：次のユーザーアカウント制御（UAC）画面ダイアログが表示される場合は、発行元が「Ministry of Internal Affairs and Communications」になっていることを確認し、**はい(Y)**をクリックしてください。



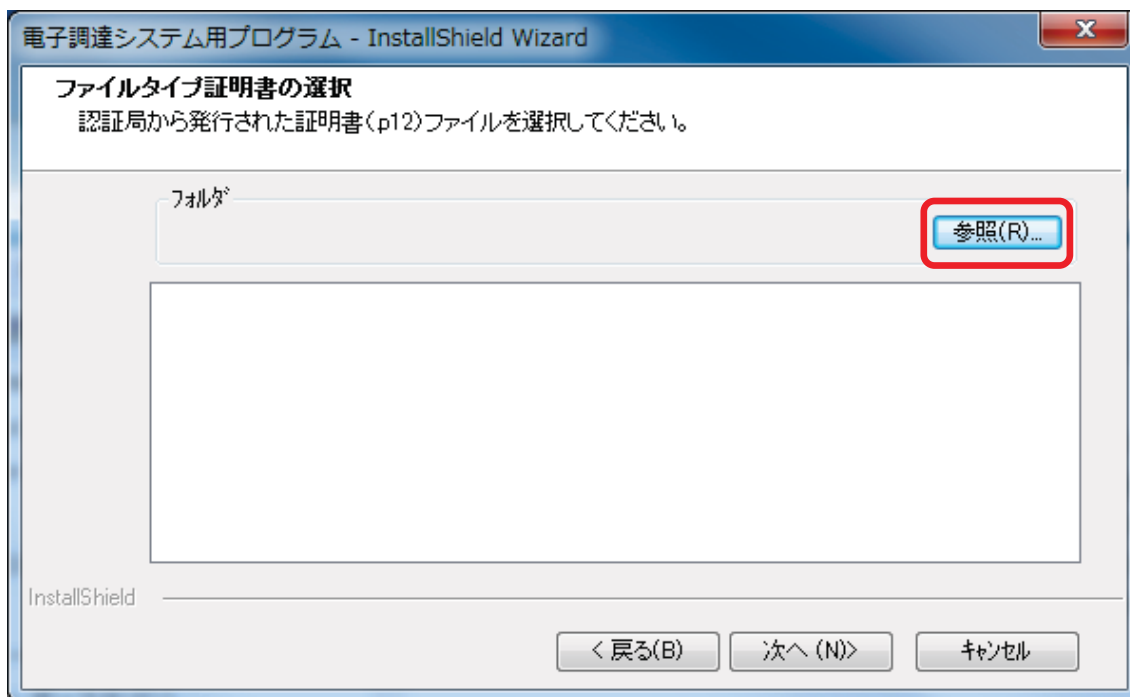
- ④ 電子調達システム用プログラムセットアップ画面が表示されるので、**次へ(N)**をクリックしてください。



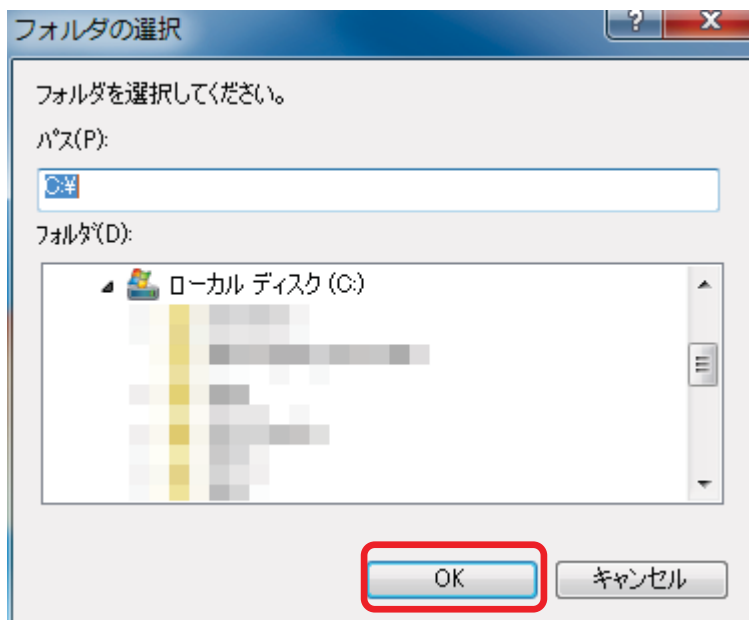
- ⑤ 使用許諾書の内容を確認し、「使用許諾契約の全条項に同意します (A)」を選択して**次へ(N)**をクリックしてください。



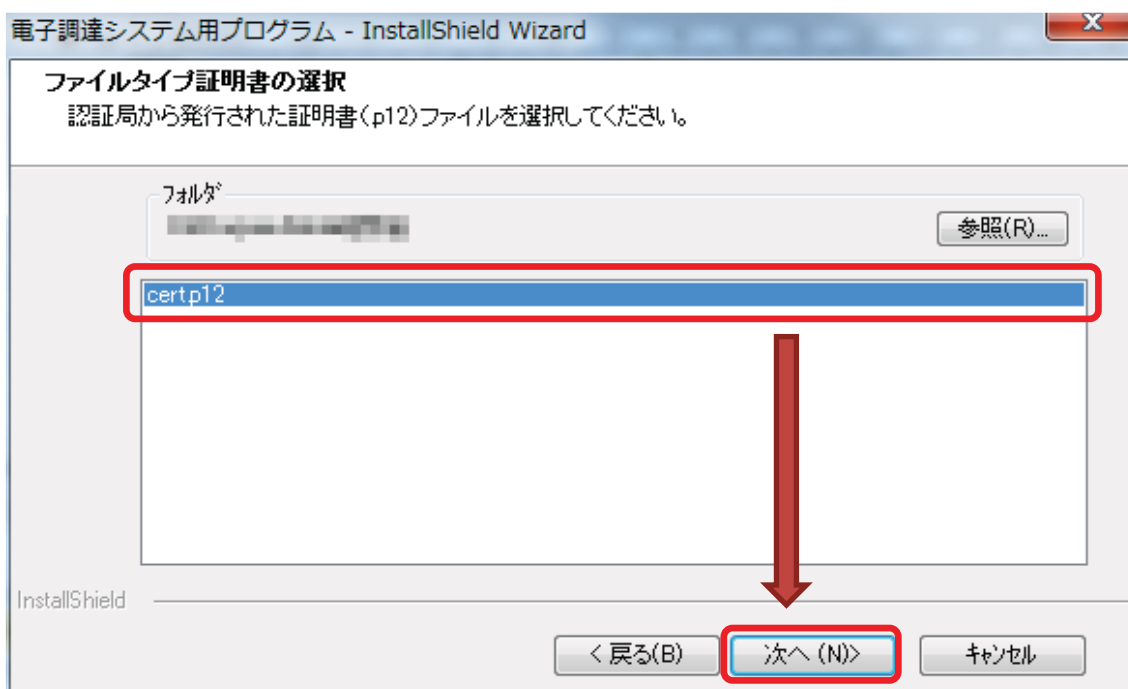
- ⑥ 民間認証局から購入したファイルタイプ証明書を配置しているフォルダを選択します。**参照(R)**をクリックしてください。



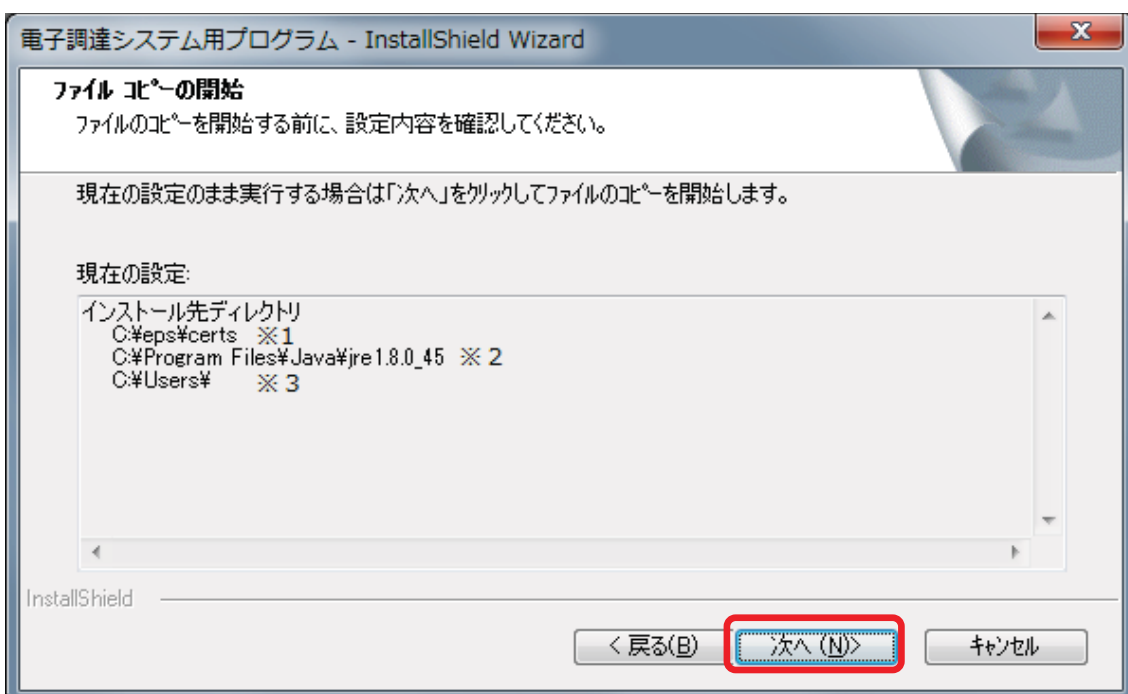
- ⑦ 民間認証局から購入したファイルタイプ証明書を配置しているフォルダを選択し、**OK**をクリックします。



- ⑧ 選択したフォルダに配置されている証明書が一覧で表示されます。使用する証明書を選択し、**次へ(N)** をクリックします。



- ⑨ インストール先ディレクトリを確認し、**次へ(N)** をクリックします。

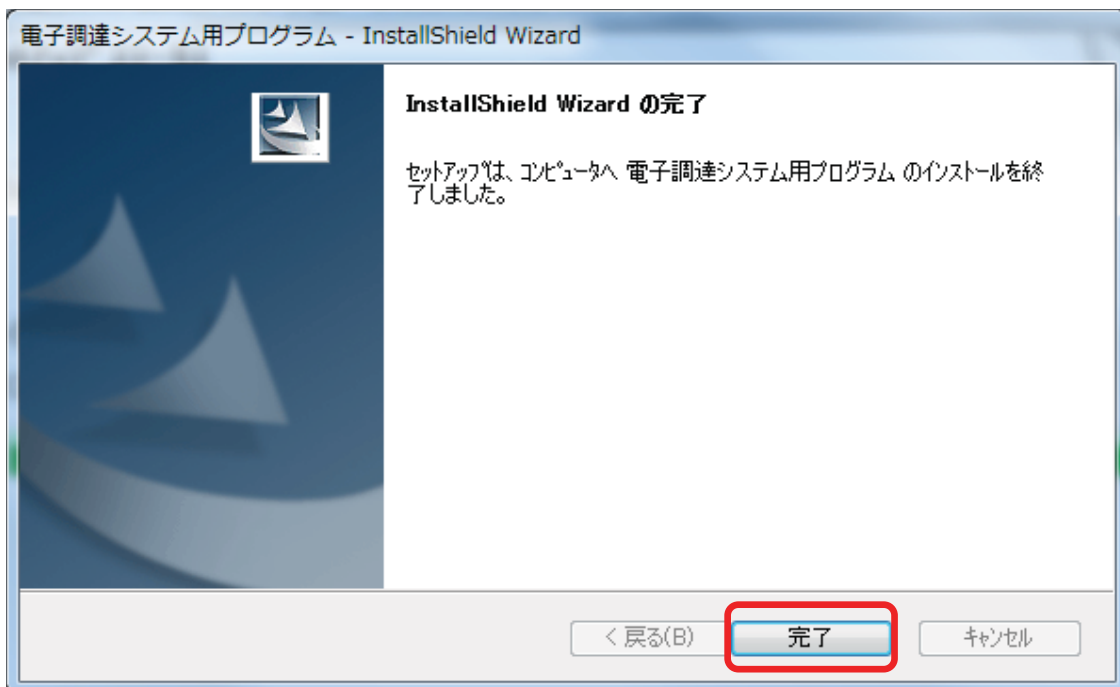


※1 手順⑧で選択したファイルタイプ証明書は C:\%eps%\certs\cert.p12 に配置します。

※2 JRE のインストール先がご利用の端末の環境に合わせて表示されます。

※3 ユーザ名には Windows にログインしているユーザ名が表示されます。

- ⑩ インストールが完了したら**完了**をクリックしてください。



2.5 電子調達システム用プログラムのアンインストール手順

電子調達システム用プログラムのアンインストール手順を説明します。

以降、電子調達システム用プログラムを Windows7 (Professional) からアンインストールする例を示します。

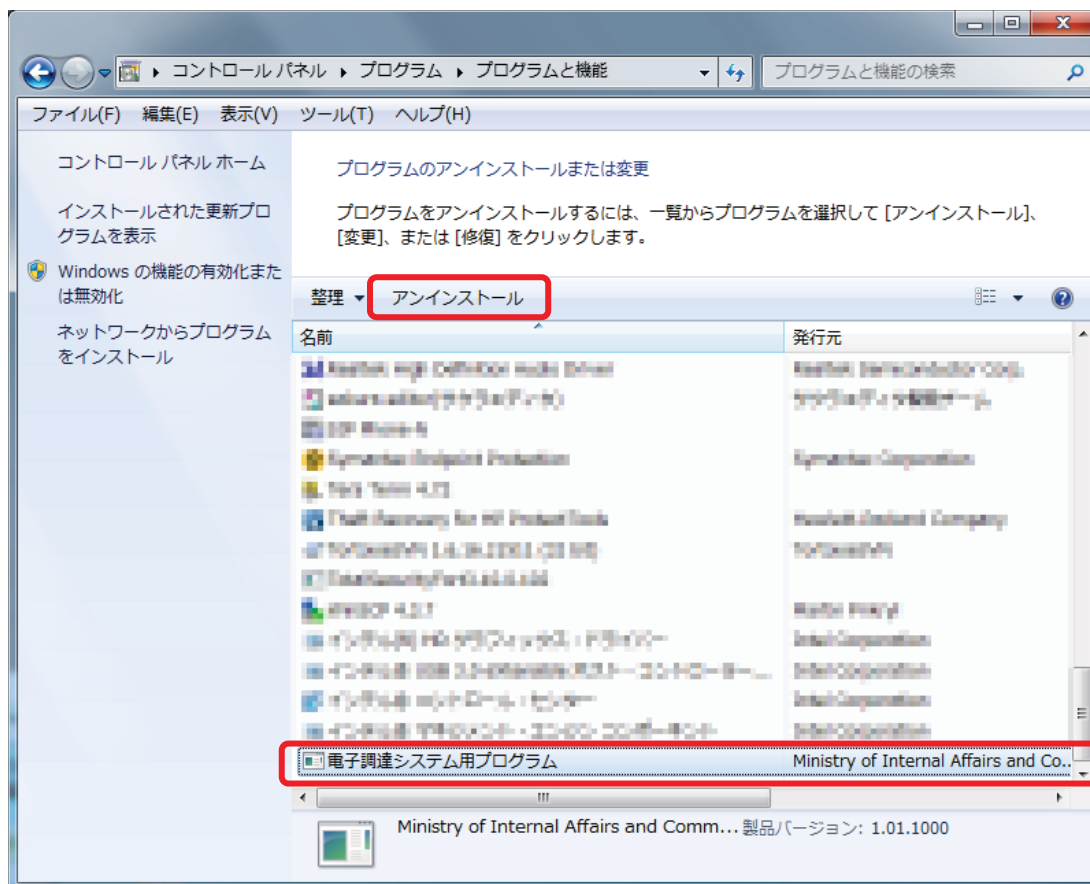
アンインストールは必ず Administrators (システム管理者権限) グループのユーザで行ってください。

- ① Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。

- ② [コントロール パネル] → [プログラム (プログラムのアンインストール)] を選択します。



- ③ 「電子調達システム用プログラム」を選択し、**アンインストール**をクリックしてプログラムを削除してください。



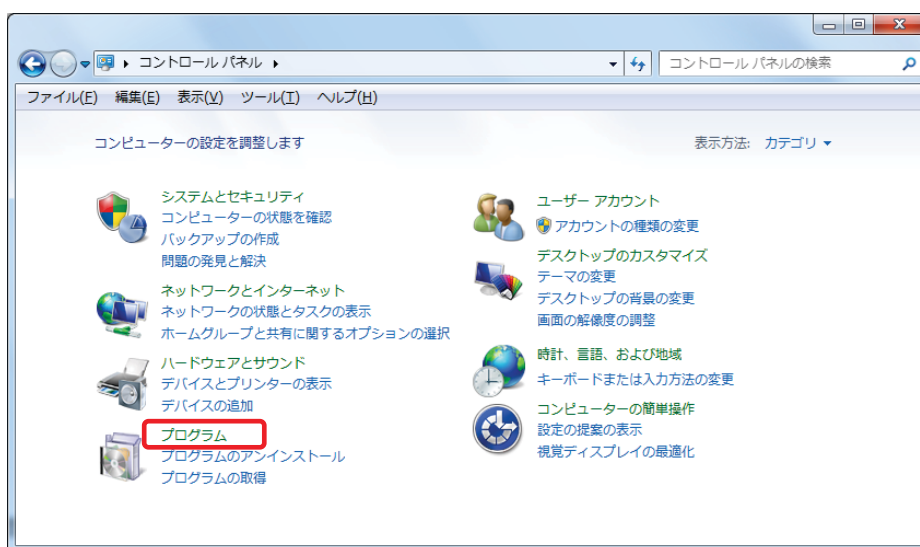
2.6 付録

2.6.1 JRE8 に関する設定手順

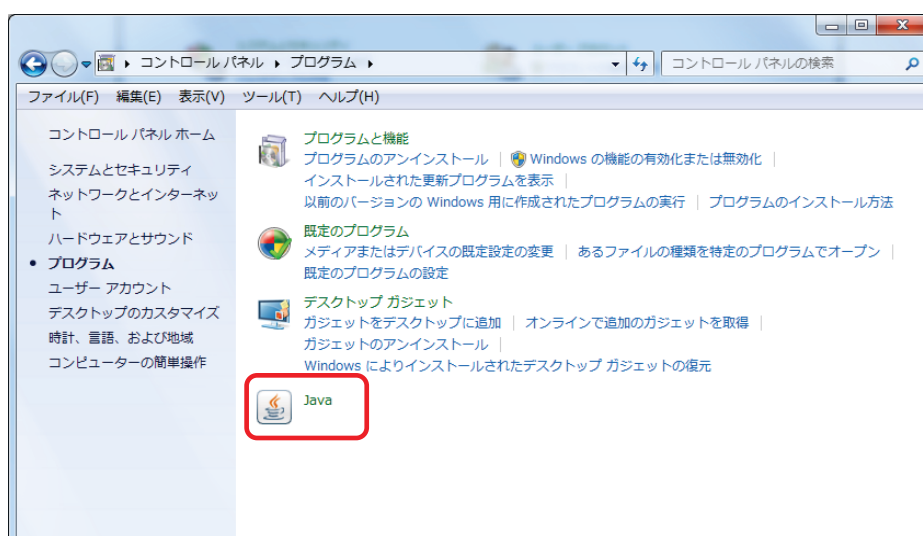
JRE8 をインストール後、Java コントロールパネルでの設定手順を説明します。

以降、電子調達システムが動作を確認している JRE8 を Windows7 (Professional) (32bit 版) で設定する例を示します。なお、電子調達システムが動作を確認している JRE8 のアップデートバージョンについては、ポータルサイトの「電子調達システムの利用開始方法」のページをご確認のうえ、設定してください。

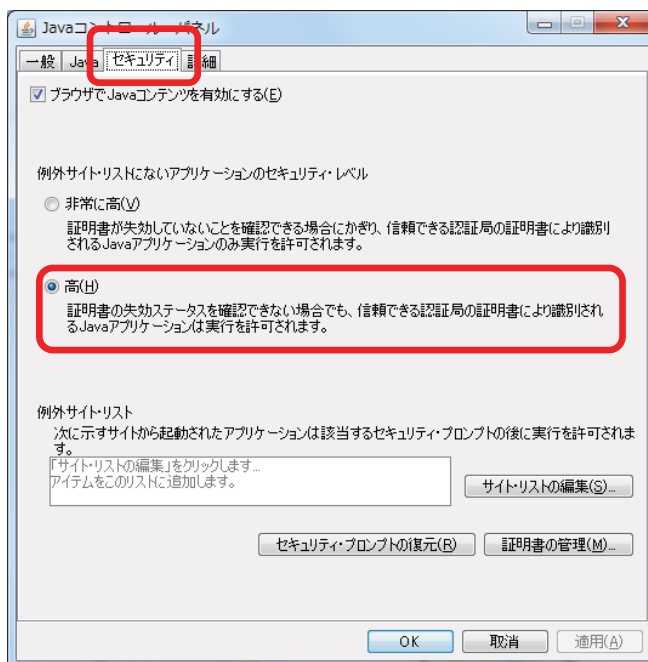
- ① [コントロール パネル] → [プログラム]を選択します。



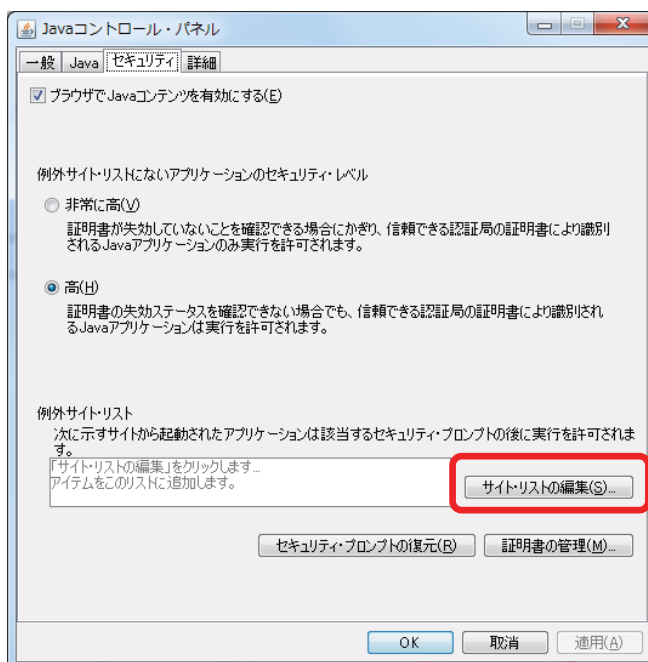
- ② **Java** のアイコンをクリックします。



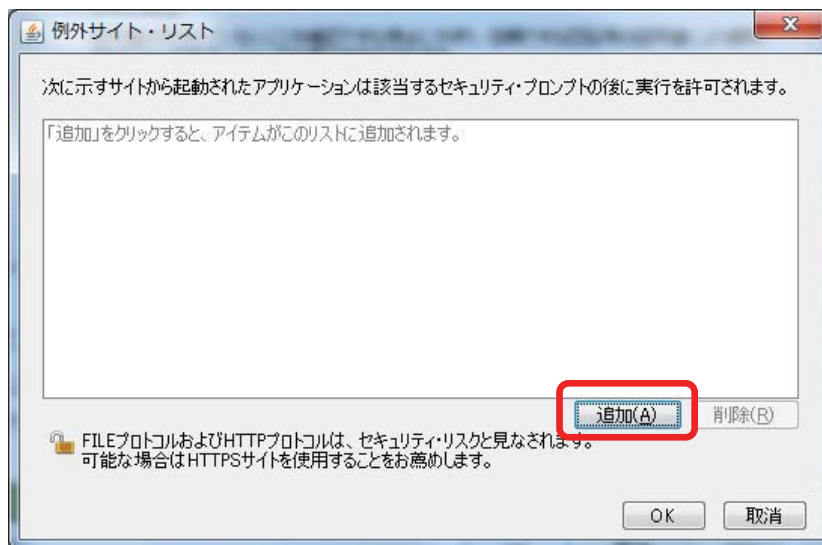
- ③ セキュリティのタブをクリックし、「高(H)」にチェックを入れます。



- ④ **サイト・リストの編集(S)**をクリックします。



- ⑤ **追加(A)**をクリックします。



- ⑥ 以下の URL を「例外サイト・リスト」に登録します。

No.1、No.2 および使用する端末の OS に合わせて No.3、No.4 のいずれか 1 つを「例外サイト・リスト」に登録します。

| No | URL |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | https://www.geps.go.jp/ |
| 2 | https://www.nyusatsu.geps.go.jp/ |
| 3 | 【32bit 版の Windows OS をご利用の場合】 file:/C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0 XX /lib/applet/MicP12Wrapper.jar |
| | 【32bit 版の Windows OS をご利用の場合】 file:/C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0 XX /lib/applet/EbidProperties.jar |
| 4 | 【64bit 版の Windows OS をご利用の場合】 file:/C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0 XX /lib/applet/MicP12Wrapper.jar |
| | 【64bit 版の Windows OS をご利用の場合】 file:/C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0 XX /lib/applet/EbidProperties.jar |

注意：入札結果確認のみを実施する場合は、NO.2 を登録します。

ポイント：OS が 32 ビット版か 64 ビット版かご不明な場合は、「[2.6.6OS が 32 ビット版か 64 ビット版かの確認手順](#)」を参照し、確認してください。

注意：上表の黄色網掛け（赤字）部分（**XX**）は、インストールしている JRE8 のアップデートバージョンに合わせて設定してください。アップデートバージョンの確認方法については、「[2.6.3 JRE のバージョン確認手順](#)」を参照してください。

なお、JRE8 update45 をインストール済の場合、**XX** は 45 となります。上表の No.3 を Windows7 (Professional) (32bit 版) にて記述した例を以下に示します。

file:/C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_45/lib/applet/MicP12Wrapper.jar

file:/C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_45/lib/applet/EbidProperties.jar

注意：上表の下線部分は、Java 実行環境のインストール場所に合わせて設定してください。インストール場所の確認方法については、「[2.6.4JRE のインストール場所確認手順](#)」を参照してください。

上表の【32bit 版の Windows OS をご利用の場合】にて、Java 実行環境のインストールフォルダが以下のように通常と異なる場所に変更されている場合の例を以下に示します。

【64bit 版の Windows OS をご利用の場合】は、「C:/Program%20Files/」を「C:/Program%20Files%20(x86)/」と読み替えてください。

「Java 実行環境のインストール場所」

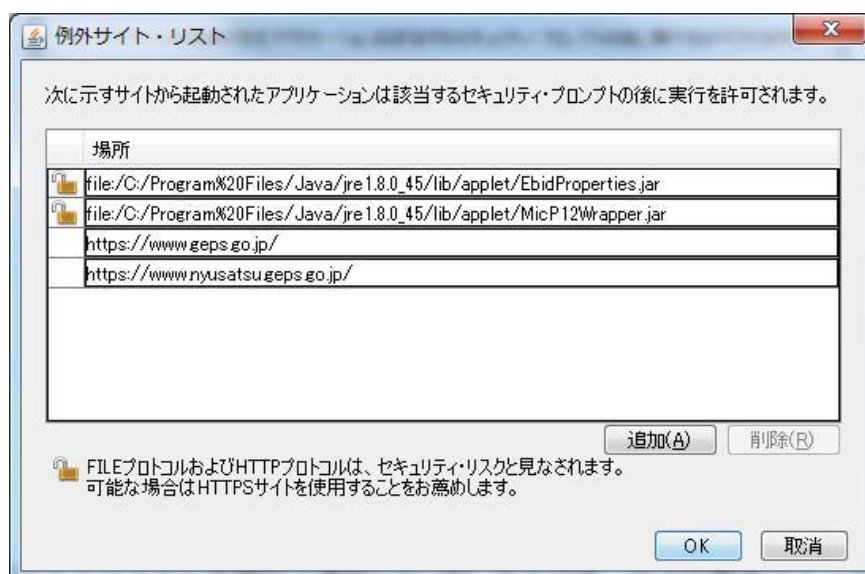
C:¥Program Files¥Java¥jre8¥bin¥javaw.exe

の場合、「例外サイト・リスト」には以下の値を設定します。

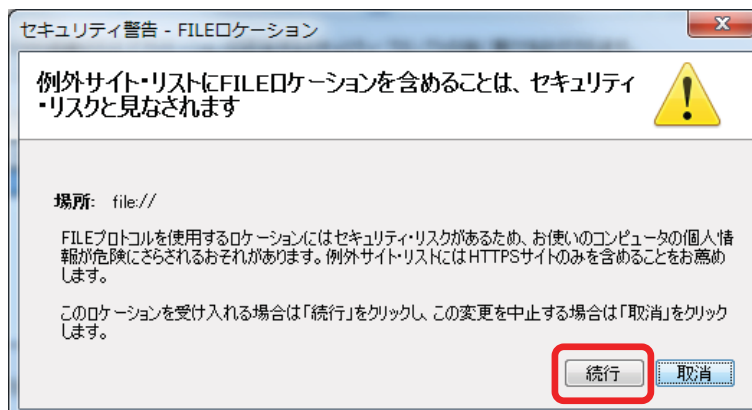
file:/C:/Program%20Files/Java/jre8/lib/applet/MicP12Wrapper.jar

file:/C:/Program%20Files/Java/jre8/lib/applet/EbidProperties.jar

⑦ 「例外サイト・リスト」に手順⑥で選択した URL を入力します。



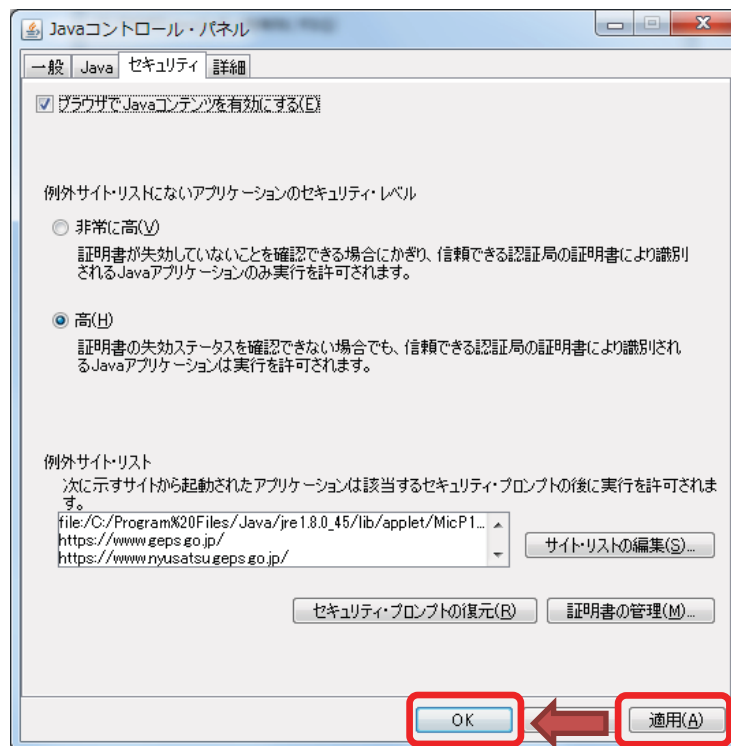
- ⑧ 例外サイト・リストに手順⑥で選択した URL を入力後、以下の警告ウィンドウが表示されますが、ここでは「**続行**」をクリックしてください。



- ⑨ **OK** を入力します。



- ⑩ **適用(A)** をクリックした後、**OK** をクリックします。



2.6.2 JRE の自動アップデート解除手順

Java 実行環境の自動アップデート機能を無効にする手順を説明します。

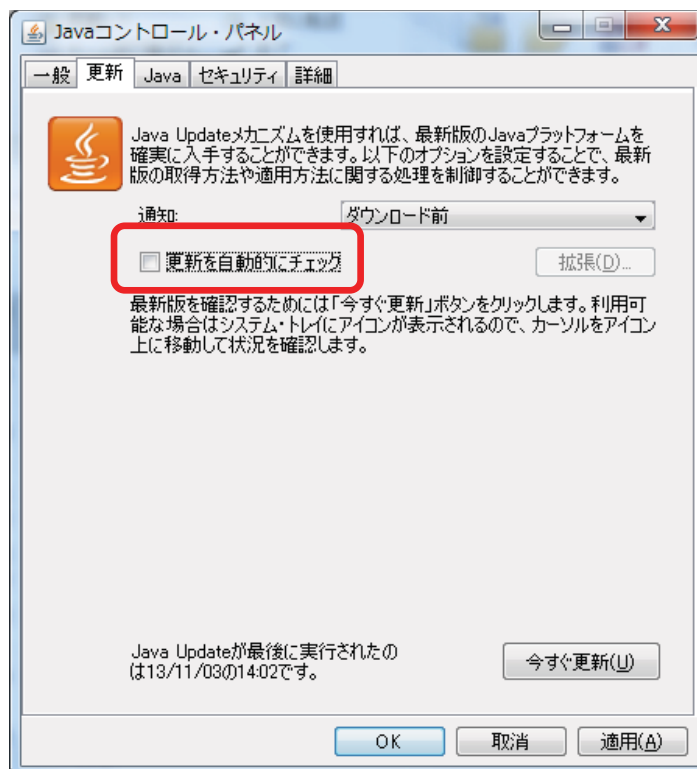
- ① [コントロール パネル] → [プログラム]を選択します。



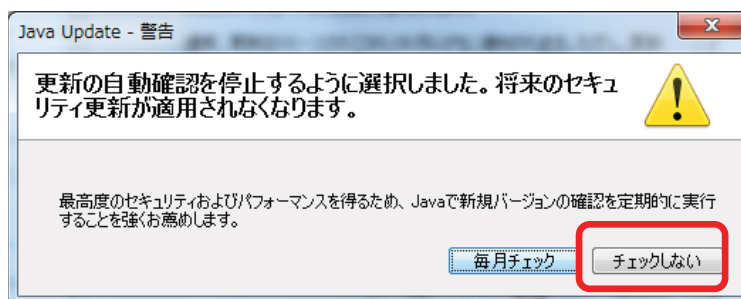
- ② Java のアイコンをクリックします



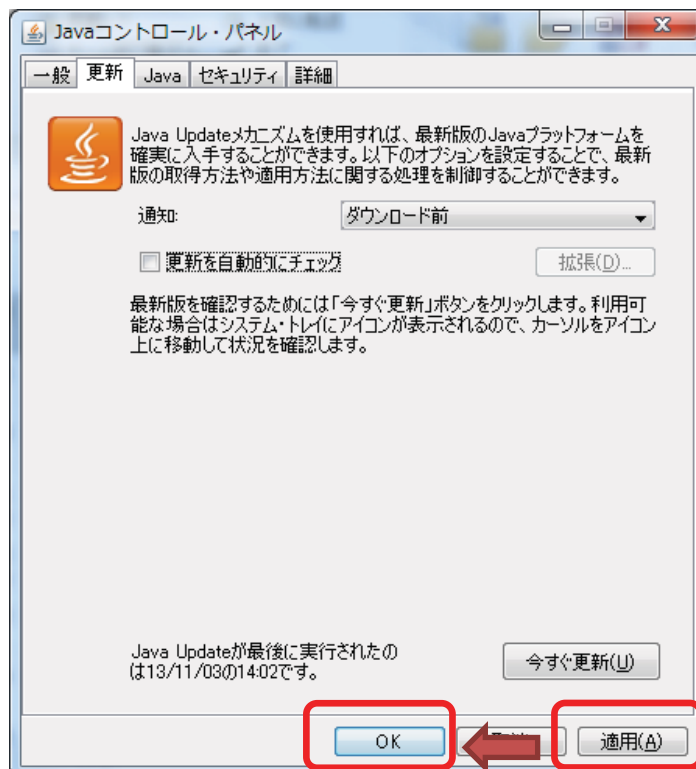
- ③ 「更新を自動的にチェック」のチェックを外します。



- ④ チェックを外すと以下の警告ウィンドウが表示されますが、ここでは「チェックしない」をクリックしてください。



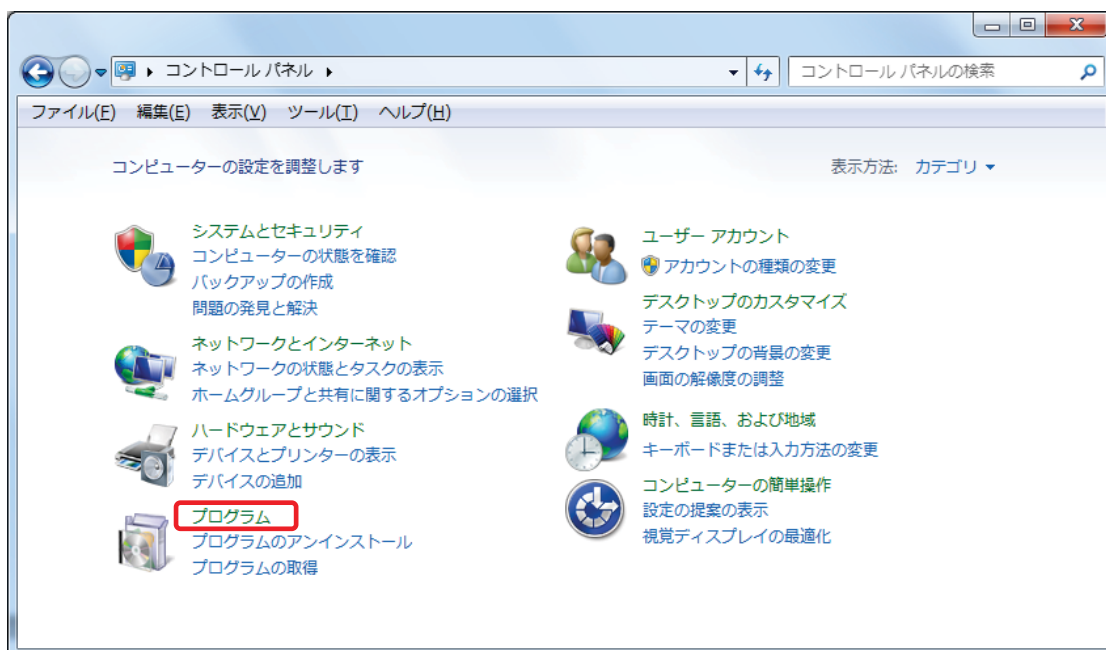
- ⑤ **適用(A)**をクリックした後、**OK**をクリックしてください。



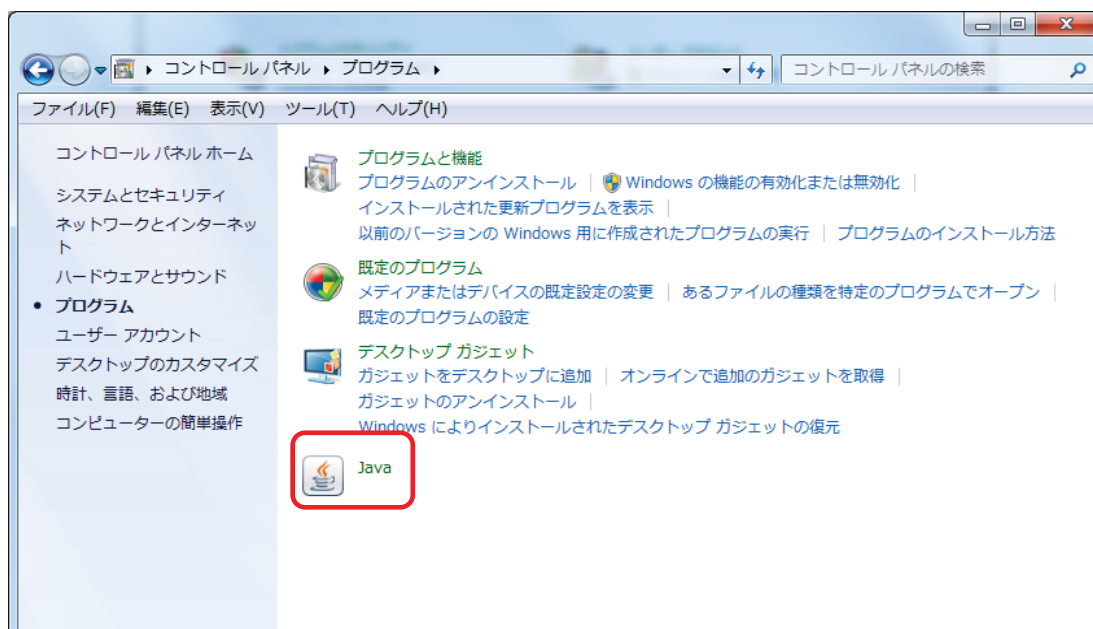
2.6.3 JRE のバージョン確認手順

Java 実行環境のバージョンを確認する手順を説明します。

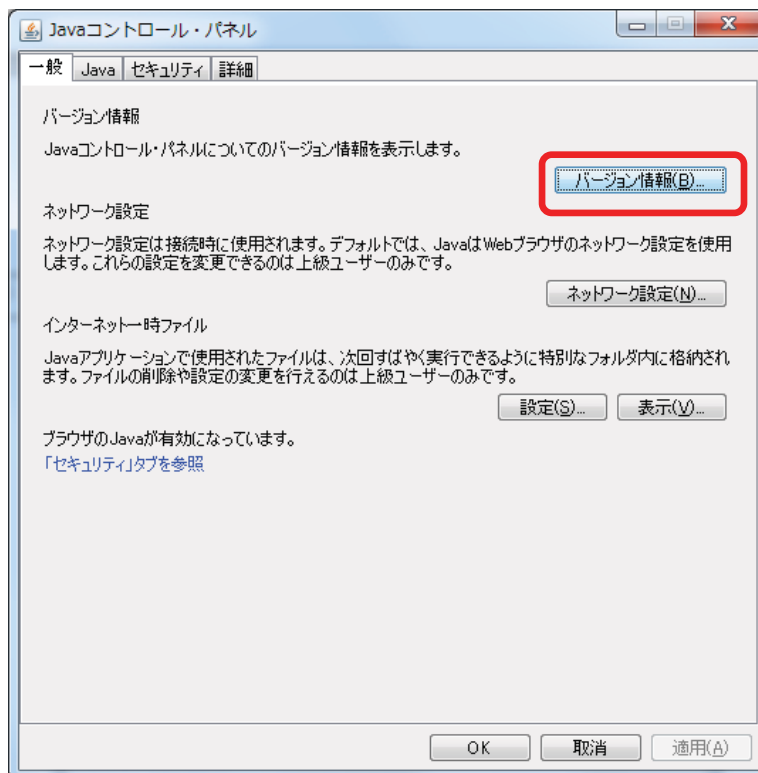
- ① [コントロール パネル] → [プログラム]を選択します。



- ② Java のアイコンをクリックします



- ③ **バージョン情報(B)**をクリックします。



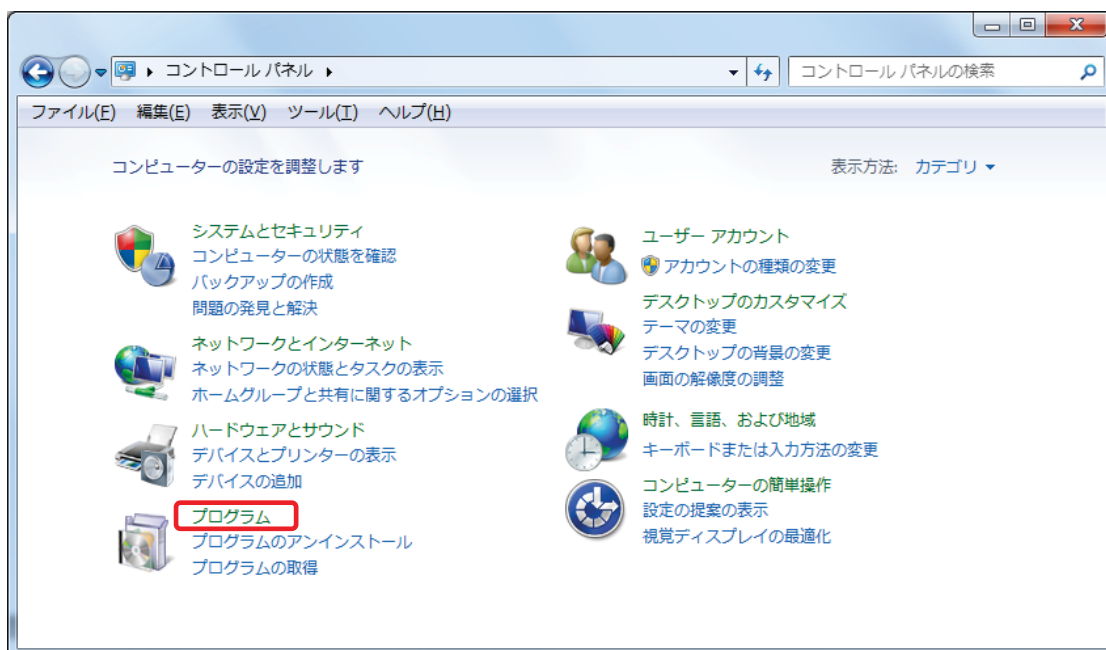
- ④ バージョン情報のウィンドウが表示されます。



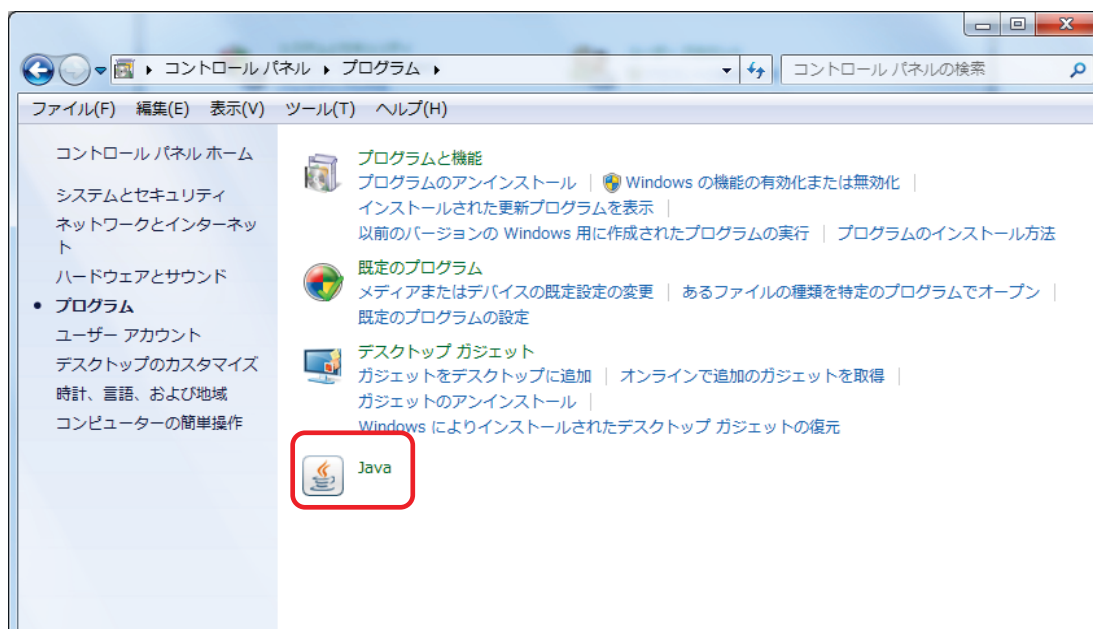
2.6.4 JRE のインストール場所確認手順

Java 実行環境のインストール場所を確認する手順を説明します。

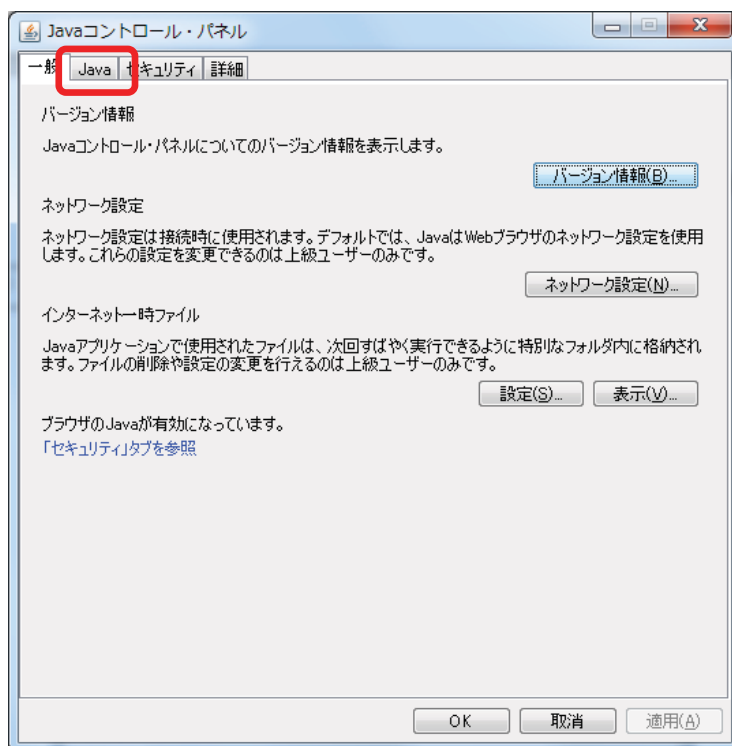
- ① [コントロール パネル] → [プログラム]を選択します。



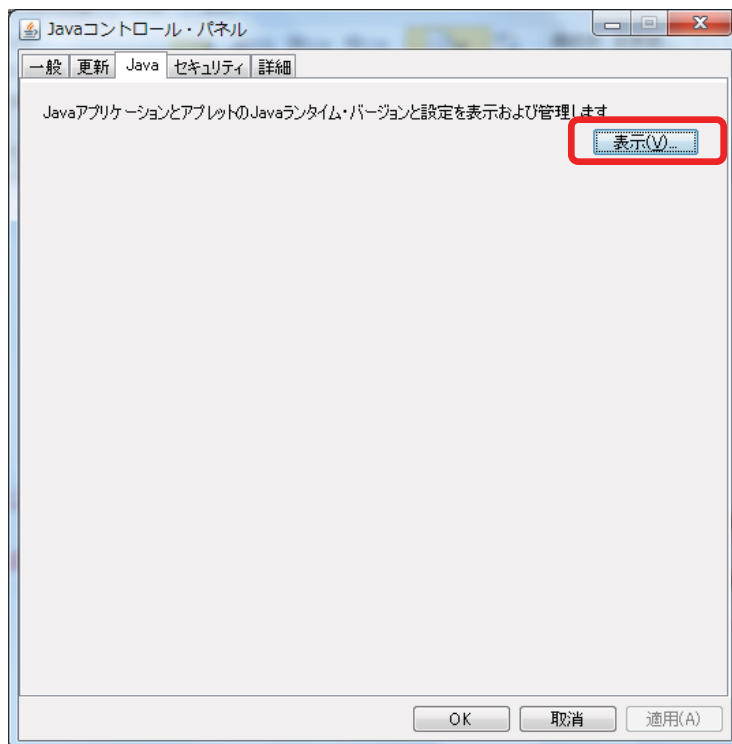
- ② Java のアイコンをクリックします



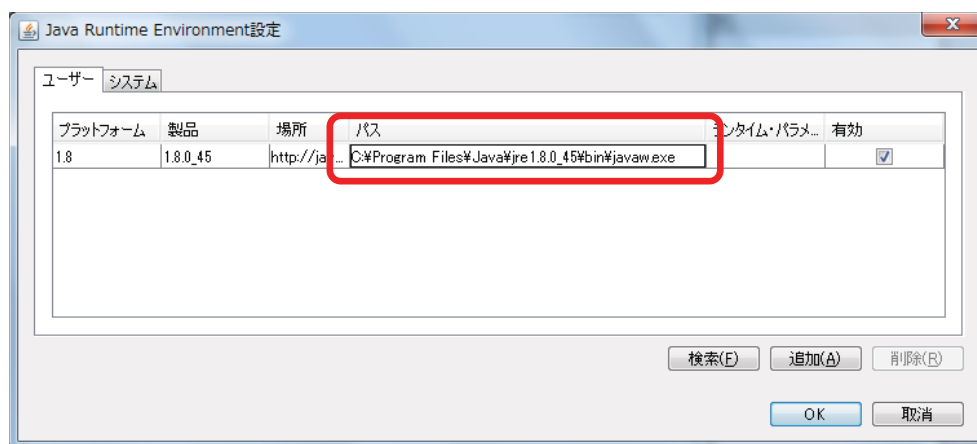
- ③ Java タブをクリックします。



- ④ 表示(V)をクリックします。



- ⑤ Java 実行環境のインストール場所を確認することができます。



2.6.5 JRE のアンインストール手順

JRE のアンインストール手順を説明します。

以降、JRE を Windows7 (Professional) からアンインストールする例を示します。

アンインストールは必ず Administrators (システム管理者権限) グループのユーザで行ってください。

- ① Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ② [コントロール パネル] → [プログラム (プログラムのアンインストール)] を選択します。



2.6.6 OS が 32 ビット版か 64 ビット版かの確認手順

OS が 32 ビット版か 64 ビット版かを確認する手順を説明します。

- ① [コントロール パネル] → [システムとセキュリティ]を選択します。



- ② **システム**をクリックします。



- ③ システムの種類で、32 ビット版か 64 ビット版かを確認できます。



3. 入札結果確認向け環境準備

3.1 はじめに

注意：入札結果確認のみを利用する場合の環境準備作業について説明します。「[2 ファイルタイプ証明書利用者向け環境準備](#)」を実施済みの方は、ファイルタイプ証明書利用者向け環境準備において設定しているため、実施する必要はありません。

3.2 動作環境

動作環境については、本システムのポータルサイト (<https://www.geps.go.jp/>) 「電子調達システムの利用開始方法」のページの「Java 実行環境」の「ファイル形式の場合」をご確認ください。

3.3 利用者環境準備手順

利用者環境準備手順は以下のとおりです。

(1) JRE(Java Runtime Environment)のインストール

電子調達システムが動作を確認している JRE をインストールします。JRE のダウンロード方法およびインストール方法については、Oracle 社のホームページ等を参照してください (JRE のインストーラに従い、必要に応じて再起動してください)。

(2) JRE8 に関する設定

「JRE8」に関する設定を行います。詳細については、「[2.6.1 JRE8 に関する設定手順](#)」を参照してください

4. 改訂履歴

| 版数 | 改訂日 | 内容 | 備考 |
|-----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1.0 | 平成 25 年 11 月 30 日 | (初版) | |
| 1.1 | 平成 26 年 2 月 7 日 | <p>1.1 はじめに</p> <p>ファイルタイプ証明書に係る説明を、以下の通り修正。</p> <p>【修正前】 ※電子調達システム用プログラムは、電子調達ポータルサイト (https://www.geps.go.jp/) からダウンロードします。</p> <p>【修正後】 ※ファイルタイプ証明書を利用するための電子調達システム用プログラムは、電子調達ポータルサイト (https://www.geps.go.jp/) からダウンロードします。</p> | |
| 2.0 | 平成 26 年 2 月 28 日 | <p>1.3(5) Internet Explorer の設定 1.7 Internet Explorer の設定</p> <p>以下のとおり、Internet Explorer の設定について説明を追加。</p> <p>【追加】 1.3(5) Internet Explorer の設定 1.7 Internet Explorer の設定</p> | |
| 2.0 | 平成 26 年 2 月 28 日 | <p>1.1 はじめに</p> <p>冒頭文を以下の通り修正。</p> <p>【修正前】 ファイルタイプ証明書を利用する場合の環境準備作業について説明します。各民間認証局が発行するICカードを利用する場合には、ご利用の民間認証局が提供するマニュアル等をご参照ください。</p> <p>【修正後】 注意: ファイルタイプ証明書を利用する場</p> | |

| | | | |
|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| | | 合の環境準備作業について説明します。 各民間認証局が発行するICカードを利用する場合には、ご利用の民間認証局が提供するマニュアル等をご参照ください。 | |
| 2.0 | 平成 26 年 2 月 28 日 | 1.3 利用者環境準備手順 以下のとおり、注意を追加。 【追加】 注意：以後の説明は、ファイルタイプの証明書の方のみ実施して下さい。 | |
| 2.0 | 平成 26 年 2 月 28 日 | 用語集 起案担当者の記述を削除 | |
| 2.0 | 平成 26 年 2 月 28 日 | 1.4 電子調達システム用プログラムのインストール手順 ⑧の画像を変更 | |
| 2.1 | 平成 26 年 3 月 31 日 | 全面改訂 | |
| 2.2 | 平成 26 年 6 月 13 日 | 誤字修正、改訂履歴記載場所変更 | |
| 2.3 | 平成 26 年 10 月 31 日 | 1.1 はじめに 以下のとおり、ポイントを追加。 【追加】 ポイント：電子証明書の取得までにかかる時間については、発行元各民間認証局に確認してください。 | |
| 2.4 | 平成 27 年 4 月 24 日 | 以下のとおり、JRE8 の設定について説明を追加。 【追加】 2.3(5) JRE8 に関する設定 2.6.1 JRE8 に関する設定手順 | |
| 2.5 | 平成 27 年 5 月 29 日 | 2.1 はじめに ICカードを発行する民間認証局 民間認証局 No2 の下に以下を追加。 民間認証局：ジャパンネット株式会社 サービス名：DIACERT-PLUS サービス http://www.diacert.jp/plus/ | |

| | | | |
|-----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 2.5 | 平成 27 年 5 月 29 日 | <p>1.1.1 利用登録の流れについて 「例外サイト・リスト」に Microsoft Vista 用の記述を修正。</p> <p>【修正前】 【Microsoft Windows 7 (32bit 版)、Microsoft Windows 8.1 (32bit 版)の場合】 【Microsoft Windows 7 (64bit 版)、Microsoft Windows 8.1 (64bit 版)の場合】 ↓ 【修正後】 【Microsoft Vista (32bit 版)、Microsoft Windows 7 (32bit 版)、Microsoft Windows 8.1 (32bit 版)の場合】 【Microsoft Vista (64bit 版)、Microsoft Windows 7 (64bit 版)、Microsoft Windows 8.1 (64bit 版)の場合】</p> | |
| 2.6 | 平成 27 年 7 月 24 日 | <p>1.1 はじめに</p> <p>【追加】 注意: 利用者申請で登録した電子証明書の更新には、以下の制約があります。 利用者申請において本システムに登録した電子証明書がファイル形式の場合、別の認証局発行のファイル形式へは更新が可能です。ICカード形式への更新はできません。 また、電子証明書が ICカード形式の場合、他の認証局の電子証明書への更新はできません。</p> | |
| 2.6 | 平成 27 年 7 月 24 日 | <p>2.6.1 JRE8 に関する設定手順 JRE8 に関する設定手順について記述を修正。</p> <p>【修正前】 JRE8、電子調達システム用プログラムをインストール後、Java コントロールパネルでの設定手順を説明します。以降、電子調達システムが動作を確認している JRE8 update31 を Windows7 (Professional) (32bit 版) で設定</p> | |

| | | | |
|-----|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| | | <p>する例を示します。</p> <p>↓</p> <p>【修正後】</p> <p>JRE8、電子調達システム用プログラムをインストール後、Java コントロールパネルでの設定手順を説明します。</p> <p>以降、電子調達システムが動作を確認している JRE8 を Windows7 (Professional) (32bit 版) で設定する例を示します。なお、電子調達システムが動作を確認している JRE8 のアップデートバージョンについては、ポータルサイトの「電子調達システムの利用開始方法」のページをご確認うえ、設定してください。</p> | |
| 2.6 | 平成 27 年 7 月 24 日 | <p>2. 6. 1 JRE8 に関する設定手順</p> <p>「例外サイト・リスト」への登録方法について記述を追記。</p> | |
| 2.7 | 平成 27 年 8 月 28 日 | <p>1. 1 はじめに</p> <p>以下のとおり、ポイントを追加。</p> <p>ポイント: 入札結果確認のみを利用する場合は、「3 入札結果確認向け環境準備」を参照し、利用者環境準備を行ってください。</p> | |
| 2.7 | 平成 27 年 8 月 28 日 | <p>2. 6. 1 JRE8 に関する設定手順</p> <p>以下のとおり、ポイントを追加。</p> <p>ポイント: OS が 32 ビット版か 64 ビット版かご不明な場合は、「2. 6. 5 OS が 32 ビット版か 64 ビット版かの確認手順」を参照し、確認してください。</p> | |
| 2.7 | 平成 27 年 8 月 28 日 | <p>2. 6. 5 OS が 32 ビット版か 64 ビット版かの確認手順を追加。</p> | |
| 2.7 | 平成 27 年 8 月 28 日 | <p>3. 入札結果確認向け環境準備を追加。</p> | |
| 2.8 | 平成 27 年 9 月 18 日 | <p>2. 6. 1 (2) JRE8 に関する設定の記述を修正</p> <p>【修正前】</p> <p>JRE8、電子調達システム用プログラム</p> | |

| | | | |
|-----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| | | <p>をインストール後、Java コントロールパネルでの設定手順を説明します。</p> <p>【修正後】</p> <p>JRE8 をインストール後、Java コントロールパネルでの設定手順を説明します。</p> | |
| 2.8 | 平成 27 年 9 月 18 日 | <p>3.3(2) JRE8 に関する設定の記述を修正</p> <p>【修正前】</p> <p>「JRE8」を使用する場合は、電子調達システム用プログラムをインストール後、「JRE8」に関する設定を行います。</p> <p>【修正後】</p> <p>「JRE8」に関する設定を行います。</p> | |
| 2.9 | 平成 28 年 4 月 26 日 | <p>2.6.1 JRE8 に関する設定手順</p> <p>以下のとおり、注意を追加。</p> <p>注意: 上表の下線部分は、Java 実行環境のインストール場所に合わせて設定してください。インストール場所の確認方法については、「2.6.4 JRE のインストール場所確認手順」を参照してください。</p> <p>上表の【32bit 版の Windows OS をご利用の場合】にて、Java 実行環境のインストールフォルダが以下のように通常と異なる場所に変更されている場合の例を以下に示します。</p> <p>【64bit 版の Windows OS をご利用の場合】は、「C:/Program%20Files/」を「C:/Program%20Files%20(x86)/」と読み替えてください。</p> | |
| 2.9 | 平成 28 年 4 月 26 日 | <p>2.6.4 JRE のインストール場所確認手順</p> <p>Java 実行環境のインストール場所の確認手順を追加。</p> | |